

瀬戸内市はこんなところ！

瀬戸内市は、総面積 125.46 平方キロメートルで岡山県の東南部に位置し、西は岡山市、北は岡山市、備前市と接しています。市の西端を南北に一級河川吉井川が流れ、中央部には千町川との間に千町平野が広がり、東南部は瀬戸内海に面した丘陵地と、長島、前島などの島々からなっています。瀬戸内海の自然景観や港町の歴史・文化、マリレジャーなどの資源に恵まれているほか、冬季の温暖な気候、日照量が多いという自然条件を活用しての農業や、沿岸部での養殖漁業などが盛んです。



岡山駅から24km(車で約45分)
岡山空港から40km(車で約70分)
山陽道山陽ICから15km(車で約35分)



農業については、古くから水田農業が盛んな穀倉地帯として知られ、邑久地域の西部に位置する千町平野や長船地区で米、麦、酪農が営まれているほか、南部の牛窓地域では白菜、キャベツ、カボチャ、冬瓜など、重量野菜の産地化が進んでおり、ブランド化されています。また、東部の沿岸地域ではピオーネやレモンなどの果樹栽培も盛んで、特にニューピオーネの栽培はこの地域から始まりました。



瀬戸内市の移住・子育てに関する支援

移住案内

瀬戸内市では、瀬戸内市移住交流促進協議会(愛称:とくらす瀬戸内)が移住を希望される方へのさまざまな支援を行なっています。農地探しや住まい探しをする際の市内案内やお試し住宅の紹介、地域ごとに地元の住民団体が移住前後のお世話をするIJUコンシェルジュへの紹介などを通じ、就農と合わせて瀬戸内市への移住を希望される方を支援します。



住まい探し

住まいを探すには、民間の不動産業者を利用するほかに、いくつかの方法があります。一つは、市の空き家バンク制度を利用して物件情報を探し、所有者と直接交渉・契約をする方法です。また、IJUコンシェルジュを通じて物件を探してもらい、紹介してもらい、ということも可能です。農地に通いやすい住居を探すためにさまざまな方法をお試しください。



子育て支援

瀬戸内市では、中学校卒業まで(満15歳となった最初の3月末まで)の保険診療にかかる医療費の自己負担額を助成、原則無料で医療が受けられます。また、市内の保育園、こども園は全体としての待機児童数が0人となっており、幼稚園の延長預かり制度や病児保育などの利用と合わせ、安心して農業に取り組むことができます。

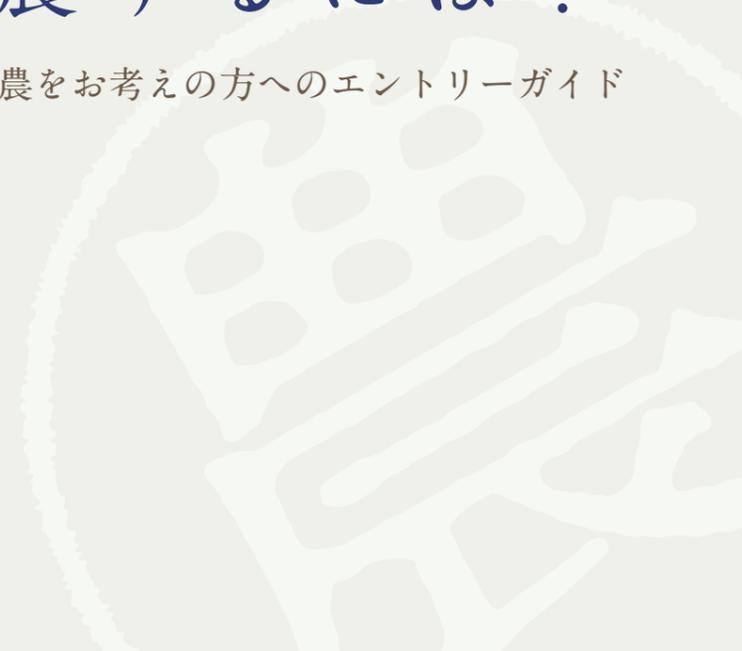


新規就農

How to be a farmer?

瀬戸内市で 就農するには？

新規就農をお考えの方へのエントリーガイド



のススメ



瀬戸内市

お問い合わせは 瀬戸内市役所 産業振興課
〒701-4292 岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1

TEL 0869-22-3934
www.city.setouchi.lg.jp

農業は一度始めると、地域はもちろん、作目を変えるのも簡単ではありません。また、就農してからのライフスタイルや、年間の作業予定も地域や作目に縛られます。したがって、準備段階から、自分は農業をすることで、何をしたいのか、どんな生活がしたいのかをしっかりと考え、イメージに合う就農地や作目を検討することが何よりも大切です。就農までに検討が必要な項目は、一般的なものだけでも次の各項目が挙げられます。就農フェアや、就農相談会などを活用しながら、確実に準備を進めましょう。

新規就農へのプロセス

1 なぜ農業がやりたいのか考える

農業を始めてから、何もかもが順調に進む、ということは滅多にありません。想像していたのと違ったり、思うように行かなかったりすることもあります。そうしたことを乗り越えられるような強い動機がありますか？

2 情報収集しよう

まずは、インターネットなどで全国の情報を集めましょう。都道府県や市町村など、行政のWebサイトだけでなく、農家さんが発信するブログなども参考になります。

3 農業・生活のプランを考える

自営で農家を営むからといって、時間や生活サイクルが自由になるわけではありません。住まいや子育てなどさまざまな角度から、生活環境について家族で十分話をしましょう。

4 作目・地域を絞り込む

目指す農業スタイルが決まったら、作目の検討と産地の比較をします。経営指導指標や気象条件などを参考に、就農を希望する作目と地域を絞り込み、候補地を絞り込みましょう。

5 市町村を訪問する

候補地を訪問し、実際に移住・就農した際の暮らしが可能かどうか、実際にイメージしてみましょう。何度か訪れることで、農家や地域の人と直接話ができる機会を持つと参考になります。

6 収支計画を作成する

どの作物をどこで、どれだけ作るのか、具体的な計画を作成しましょう。同じ作物でも、地域によって収支は変わります。できるだけ詳細な計画を立てることで失敗を減らしましょう。

7 資金の準備・計画をする

新規就農は起業ですから、一定の自己資金が必要です。機器の購入や移住にかかる経費、研修資金などの初期投資を、農業収入で返済できるかどうか収支計画に沿って綿密に確認します。

8 技術や知識の習得機会を持つ

研修に参加し、農業技術や経営手法を身につけましょう。岡山県が実施する新規就農研修制度や農業大学の研修のほか、瀬戸内市内の農家で研修を受けられることもあります。

9 農地・住居を確保する

農地や住まいを確保するには、地域の方との信頼関係が大切です。また、農地の購入、借入には許可が必要です。移住支援制度なども合わせて利用し、住まいと田畑の確保に努めましょう。

10 新規就農!!

好きなタイミングで始められるわけではないのが農業です。作物の栽培計画や、研修などの予定、農地や住まいについての契約などについて、新規就農までのスケジュールを立てておくことが重要です。

新規就農はゴールではありません。

目標とする農業、思い描いた生活が実現できるよう、技術の向上や、人間関係の構築、新しい環境への適応などを進めていきましょう!

瀬戸内市の農業支援

農業が盛んな瀬戸内市では、地域農業の担い手となる意欲ある方を求めています。年間を通じて温暖であり、また水利にも恵まれていますので、本気で農業に取り組みたい方に適しています。温暖な土地柄を活かした主な作物は、平野部では水稻、二条大麦、東部の丘陵地ではピオーネ、みかん等の果樹、海に面した南部では白菜やキャベツ、冬瓜などの重量野菜となっています。

自然条件（観測地点：虫明）
年間平均気温：14.8℃/年間降水量：1,086mm/積雪の状況：ほとんどなし

就業奨励金

申請年度の初めに年齢が39歳以下で、市内において新規に就農を始め、将来に亘り専業として農業経営を続けていこうとする意欲ある者に、選考のうえ奨励金(5万円)を支給。

研修の受入について

研修品目（研修主体：岡山市農業協同組合）

- 1. 露地野菜 牛窓町全域
- 2. ぶどう 邑久町裳掛地区

研修受入の条件等

- 20歳以上55歳未満
- 瀬戸内市において農業に就業し継続する意志がある
- 自己資金500万円以上（作目により異なります）
- 本人以外に1名以上の労働力が確保できる方を優先
- 地域との融和を大切にできる方

※受入体制の整備状況や受入状況により、研修生を募集していない場合があります。

就農促進トータルサポート

農業体験研修 対象 申請時に55歳未満 募集期間 年2回

新規就農希望者に対し、農業や農村生活等への適性を確認することを目的に、就農を希望する地域の先進農家等のもとで1か月間の農作業や農村生活等を体験するための研修を行う。

農業実務研修 対象 • 農業体験研修修了後、1年以内
• 研修主体から農業実務研修生の認定を受けた者

研修費の助成額 125千円/月 以上

新規就農希望者に対し、就農を希望する市町村の先進農家等において、研修費を支給しながら2年以内の技術の習得や農地・住宅の確保、地域の絆づくり等により独立・自営就農するための実践的な研修を行う。

農業次世代人材投資資金

準備型 対象 49歳以下 給付額 年間150万円 給付期間 最長2年間

次世代を担う農業者となることを目指し、農業大学校等の農業経営者育成教育機関等で就農に向けて必要な技術等を習得するための研修を受ける場合、都道府県等を通じて交付。

経営開始型 対象 49歳以下 給付額 年間150万円 給付期間 最長5年間

次世代を担う農業者となることを目指す者の経営確立を支援するため、人・農地プランに位置付けられ、原則として49歳以下で独立・自営就農する認定新規就農者に対し、市町村を通じて交付。